



秋田大学教育文化学部附属幼稚園

〒010-0904

秋田県秋田市保戸野原の町14-32 TEL018-862-2343

<http://www.kg.akita-u.ac.jp/> FAX018-867-0134

担当者 副園長 小玉 史男

1 本園の方針

主体的に生活する幼児の姿を求め、創意ある教育活動の実践と研究を推進する。

- (1) 幼児の主体的な生活及び一人一人の育ちを保障するために、教育課程に基づき遊びを中心とした園生活を計画的に進める。
- (2) 大学・学部・附属校及び地域との連携を図り、教育・研究の充実を図り、教員の資質向上に努めるとともに、地域の保育者研修に貢献する。
- (3) 家庭との連携を十分に図り、ともに幼児の成長を支え合い、子育て支援の役割を果たすよう努める。



[大学教員による参与観察]

2 本園の特色

(1) 公開研究協議会（年2回）

県内幼児教育・保育関係者にとっての数少ない実践公開を伴う研修の場であり、幼稚園、保育所、こども園の教員、保育者のみならず、教育委員会幼児教育担当者（指導主事、幼保指導員、保育アドバイザー）や短期大学教員等、幅広い関係者の研修の場となっている。

(2) 保育研修会（年1回）

附属幼稚園では地域教員対象の保育研修会を実施している。平成29年度には大学教員主体で実施している連続保育講座のうちの1回と共同開催として実施した。

(3) 県や市との連携

附属幼稚園教員は県教育委員会主催の新規採用教員研修会においての保育公開や協議への助言、研修会での講話のほか、中堅教諭等資質向上研修でも講師を務めている。就学前・小学校地区別合同研修会では、附属幼稚園での経験後に小学校に異動した教員が経験を活かした講話を担当している。

(4) 保育実践研究の蓄積と改善

附属幼稚園では大学教員と共同で保育実践研究を行っている。大学教員は、週1回程度の保育への参与観察を行うとともに、保育カンファレンス・研究保育に参加し、研修を深め、課題共有を企図している。



[大学教員による助言・参画]

(5) 運営オブザーバー

大学教員と地域関係者がそれぞれの専門領域から必要に応じて園運営への助言・参画ができるような体制を構築している。

(6) 連続保育講座（年6～8回、10年目）

大学教員が地域の幼児教育・保育関係者を対象として実施し、毎回附属幼稚園教員が参加している。幼稚園、保育所、こども園教諭等のほか、短期大学教員、行政関係者、小学校教員等幅広い関係者が集まる他にはない研修機会となっている。

3 研究成果の提供・還元

- (1) 公開研究協議会2回、保育研究会を1回開催して、参加者に研究情報を提供している。
- (2) 平成28年度保育研修会ならびに第2回公開研究協議会では、参加者のアンケートを学部教員が分析・検証し、保育者研修の方向性の在り方を考察して研究紀要に掲載、発表した。
- (3) 平成29年度第2回公開研究協議会（11月開催予定）では、分科会記録を事後の早い時期にホームページで公開し、参加者、地域の関係者への情報提供を図る予定である。